

## 「この世の知恵と聖書の知恵」

2023年10月08日

この世が言う知恵と、聖書が言う知恵とは違います。人々は、知恵を得るために知識をたくさん積み上げるべきだと考えます。親は子どもに対し、知識が浮いたかになるだけでなく、知恵のある者になってほしいと願い、様々な学問をきちんと習得することが重要だと考えます。

知識をきちんと積み上げていくなら、いつかその知識が人生の問題を突破するための知恵と昇華するだろうと考えるからです。

しかし、聖書は「主を恐れること」が知識の初めであると教えています。それを別のことばで言い換えれば、知恵が豊かになるためには、多くの知識を習得することではなく、神様を恐れて一步一步の歩みを進める知恵と態度が重要だということです。

この世の知恵は、自分の益、自分が属している集団や組織の益を追い求めます。そして、人生において成功する方法、困難を乗り越えていく秘訣などを知恵と言います。しかし、聖書は絶えず神様の視線を念頭に置く人、すべての瞬間に、神様のみ前で歩む人を知恵のある人と言います。

この世の知恵と神様の知恵とは衝突するしかありません。まさにその時、この世の知恵を拒み、神様を恐れることを選び取る人を、神様は探しておられ、そのような人に目をとめられるのです。

リビングライフ・コラム

# 週報

§ 今年の教会テーマ  
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句  
「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2  
宗教学者 日本ネクスト・タウンズ・クルセード  
鈴鹿キリスト福音教会  
059-383-5145(教会)

今週の礼拝メッセージ 輝子伝道師

タイトル 「問われる愛し方  
～閉ざされた関係のブレイクスルー」

聖書箇所 使徒の働き 16:1～

①弟子とするパウロ

- ・福音のバトンを繋ぐため
- ・「受けたら、流す」ため

②パウロの配慮

- ・何者にでもなる器
- ・宣教の多様性
- ・証し

③テモテの柔軟性

- ・変化の招き
- ・イエス様の願い

※ 分かち合いのメンバー、家族と考えましょう

・あなたが救いを願い続けている人と、どれだけ心通わせる関係が築けているでしょうか？

・パウロ達が厳格なユダヤ人を理解したように、相手に対して理解すべき文化の感情とは何でしょうか？

・相手との関係の中で邪魔している「内なる自分の頑さ」は何でしょうか？

毎日の信仰告白

「恐れるな、喜べ。もっと喜べ、  
今最高に喜べ、感謝せよ、主にあって  
主イエス様を信じる私に、今日も良いことがあります  
主イエス様を信じる私に、今日も美しいことが始まります  
神は善にして善を行なわれます  
マイナスはプラスに 不可能は可能に  
全て相働いて益とされます  
わたしは恐れ退いて滅びる者ではありません  
信じていのちを保つ者です  
私と私の家族はみな救われます。ハレルヤ」

《報 告》

※ 先週火曜夜に当教会を会場にしてもたれた「北勢牧師会」に熊野市出身で英国在住のホームズ・恵子先生という方が、参加され、過去30年以上にわたる元英国人捕虜とその遺族に対しての「謝罪と和解」の働きについて証ししてくださいました。詳しくは掲示板のコピーやホームページをご覧ください。

※ ガザ地区からロケット弾攻撃

※ 昨日 7 日、イスラエルは秋の例祭のクライマックスであるシムハット・トーラー（律法の歓喜祭）を迎えていましたが、朝から雨のように多数のロケット弾がガザ地区から発射され、警報が鳴り響いています。これまでに、テルアビブを含むイスラエル中部及び南部に着弾し、南部ガザ国境近くの町にテロリストが入り込み、戦争状態となっています。イスラエル兵や多数の市民がテロリストに誘拐されたというニュースも入ってきており、緊迫した状況です。主の守りをお祈りください。

エルサレムの平和のために祈れ。(詩篇 122:6)B.F.P.Japan